

大飯・玄海原発再稼働反対！ 老朽原発廃炉！

2018.3.11



東日本大震災、そして福島原発の事故から 7 年。いまだ収束のめどは立たず、10 万人以上の人々が避難を余儀なくされているにもかかわらず、政府は帰還困難区域への帰還促進、住宅支援の打ち切りという、あたかも事故処理は終わったかのような被災者の困難な立場を顧みない対応をしています。

そのような何も解決していない福島の実状がありながら、政府は老朽化した関西電力の高浜原発 1・2 号機および美浜原発 3 号機を動かそうとしています。とりわけ美浜原発は私たちが居住するこの名古屋市から約 100km という至近距離にあり、ひとたび事故が起きれば放射能汚染の影響から逃れる術はありません。原発内部の圧力容器等は交換することなどできず、40 年前と何ら変わらぬ状態で稼働することは極めてリスクが高く危険です。

3.11 以降、日本列島は地震の活動期に入り、今後いつどこで巨大地震が起きてもおかしくないと言われています。このような状況にありながら、政府は九州電力の川内原発 1.2 号機、関西電力の高浜原発 3.4 号機の再稼働を強行し、さらに九州電力の玄海原発 3.4 号機、関西電力の大飯原発 3.4 号機の再稼働に続けようとしています。それどころかエネルギー基本計画に原発の新增設を明記し、推進の態勢を強化しようとしています。

それに対して伊方原発 3 号機の運転を禁じる広島高裁による仮処分決定、大飯原発 1・2 号機の廃炉の決定は、不安要素の多いこの土地で原発を動かすことの危うさを誰もが身に沁みて感じることの証左であると言えます。私たちは自然エネルギーを促進し、美しい自然と雇用を守っていくことができます。3 月 11 日という震災および原発事故のおそろしさを私たちが思い知ることとなったメモリアルなこの日、集まりましょう！

再稼働させない！許さない！抗議の声を！ ～ 呼びかけ / TEAM 原発いらんがね NAGOYA ～

3 月 11 日（日）、第 2 号栄公園（愛知県美術館東）で開催しました。その集会、デモの熱気をお伝えします。

マルシェ & イベント 12 時 00 分 ～



今年も登場しました。国境なきタコ焼き団！
情報誌 CAN の印刷でお世話になっているもくもく印刷のみなさんです。



権田菜美さんの創作ダンス



わっぱチンドンのみなさん